

あきる野の子どもたちを育てます

西秋留小学校



校長
榎本 茂

副校長
坂本 満弘

人間尊重の精神を基調とし、個性豊かで、たくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- 心ゆたかな、たくましい子ども
- 思いやりのある心 学校教育全ての中で、心の教育の推進
- 考える力 基礎的・基本的な学力の定着と思考力の育成
- じょうぶな体 基本的な生活習慣の確立と体力の向上

秋川の清流にのぞみ、風光明媚な地にある。保護者の教育に対する期待が高く、地域も、自分たちの学校という意識が強く、協力を惜しみません。地域活動も活発で、学校・PTA・地域の連携が密に保たれ、豊かな体験活動の充実を図ります。

こんな学校を目指します

子どもたちが育ち輝く、心身ともに元気な学校

- 1 「思いやりのある心」…… 子ども達の安全の見守りの継続 地位ぐるみであいさつ運動 個別支援計画作成、保護者への通知 問題への即時対応・即時解決 道徳主任を中心に全教育活動の中で心の教育の充実 2・5年生があきる野学園との交流
- 2 「考える力」…… 5・6年生の外国語活動を年間35時間実施 算数少人数指導における習熟度別学習の推進 米作り（5年）菊作り（6年）の実施による伝統・文化理解教育の推進 全学年へ春・秋に「絵本の会」による本の読み聞かせ 夏休み前期・後期に分けたサマースクールの実施
- 3 「じょうぶな体」…… 「早寝 早起き 朝ごはん」の意識付け強化 持久走月間、なわ跳び月間の設定 食育年間指導計画に基づいた「食育教育」の推進 生涯にわたり運動に親しむ態度の育成

【このことをするために「当たり前」のことを丁寧に教える学校をめざし、「当たり前」のことを根強く学ぶ子を「そだてます。」】

屋城小学校



校長
加藤 達夫

副校長
福原 恵生

教育方針

- (1) 学習意欲を高めて、確かな学力を定着させる。
- (2) 児童の心に寄り添う生活指導で、安全で安心な環境を充実させる。
- (3) 特別支援教育の推進で、だれもが居心地のよい学校をつくる。
- (4) 自然や地域文化を生かし、特色ある教育活動を充実させる。
- (5) 教職員相互・保護者・地域・諸団体・ボランティアと連携し、協働する学校にする。

本校では、教育の目標の「や（やさしい子）・し（しっかりした子）・ロ（ロマンのある子）」を合い言葉に、全教職員一丸となって、人権尊重の精神のもと、心身ともに健康で、豊かな児童を育てようとしています。

新しい学習指導要領に対応して、一人一人の子供に合った学習指導を行っています。そのために、特別支援教育の理念を踏まえ、だれにでも分かりやすい授業を行い、授業時間を確保して反復学習や習ったことを使って考える学習活動を行っています。

また、すべての子供にとって「安全で安心して学べる地域の学校」を目指す屋城小は、きまりを守ることが思いやりの心を育てる基本であると考え、一人一人がきまりを守ることの大切さを指導していきます。学校と地域の方々と同じ歩調で子供たちを健全に育てていくのが、屋城小学校です。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一の谷小学校



校長
平田 和孝

副校長
木下 美彦

国語と算数の少人数（20名程度）で指導。学力向上に力を入れています。伝統芸能の学習など一の谷小ならではの教育活動で、子どもたちが豊かに育っています。安全・安心な学校作りを進めています。（メール送信、学校安全ボランティアの活用）文部科学省の指定事業として「学校ボランティアの充実」に取り組んでいます。

一の谷小学校は、秋川を挟んでサマーランドと対面している、全館冷暖房完備の学校です。本年度で開校35年目を迎えます。開校当時、地域の方々に寄贈していただいた500本の木は、今でも地域の方々の手によって剪定が行われており、まさに、地域の学校に対する熱い思いにええられていく地域あつての学校といえます。昨年、特別支援学級「こすもす学級」が開校し、今年はいよいよ入学式を実施しました。現在の学級数は8学級、児童数は186名です。

国語と算数の2教科で少人数指導を実施しています。15分モジュール学習の取り組みとともに、基礎学力をつける指導の充実を図っています。あきる野学園との交流は11年目を迎えます。年2回の休日の学校公開、地域の経験豊かな方々から学ぶ指導体制の充実も図っています。

教育目標

- ・よく聞いてよく考える
- ・やさしい心をもつ
- ・最後までがんばりぬく

経営方針

教育活動全体を通して人権教育を推進し、人権に対する感覚や実践力を育てる。基礎的・基本的な内容の確かな定着を図り、学ぶ意欲と自信を育てる。特別な支援を必要としている児童の教育的ニーズに応じた指導を推進する。自ら学び考え解決する力や表現力を育み、主体的に学ぶ力を育てる。地域の様々な人や自然や文化とのかわりを通した学びを重視し、豊かに生きる力を育てる。心身の健康の保持増進や安全に対する意識を高めるために、「食」に関する指導や健康・安全指導を計画的に推進する。地域社会の一員としての自覚や広く国際社会に対応できる力を育てる。学校を開き、家庭・地域との連携を充実させ、「共 有」の充実を図る。

前田小学校



校長
竹川 博

副校長
亀山 桂子

「命を大切に、共に輝き生きていく」

- ・たくましく—じょうぶな体とねばり強い心を育てる
- ・なかよく—一人のよさ、自分のよさを生かしあう
- ・かしこく—自ら学び、考える力を育てる

『じょうぶな体・強い心』『一人一人に優しい学習環境作り』『地球に優しい環境作り』を三本柱とし、スポーツ教育推進校・体力テスト協力校として体力作りの推進、特別支援教育のさらなる充実、環境教育の推進を目指します。

前田小プラン

子どもが変わり、教師も変わる学校

『元気いっぱい』『あいさついっぱい』『優しいいっぱい』『楽しさいっぱい』

前田小には、元気がいっぱいあります。楽しい授業が行われ、子どもたちが元気いっぱい学んでいます。休み時間は、広い校庭で元気いっぱい遊びます。子どもたちは、優しい心をもっています。友達や家族、先生、地球を大切にします。子どもたちがなかよく、元気よくあいさつします。

人と人のかかわりを大切に「共に学び共に育つ学校を！」を目指します

戸倉小学校



校長
工藤 淳一

副校長
宇治 昭秀

7名の新人児童を迎え、全校児童34名で新学期がスタートしました。家族的な雰囲気の中にも節度をもつて、明るい挨拶や子どもたちの歓声にあふれた規律ある学校づくりと「自ら考え、自ら学ぶ児童の育成」を目指して教育活動を推進しています。

開校137年を迎える戸倉小学校は、かつて戸倉村があった城山のふもとにあります。たくさんの野鳥の声が響き、四季折々の花や野草、秋川の清流を間近に臨む豊かな自然の中に建つ伝統ある小学校です。

地域全体で模範を示しながら子供を育てる「大人が手本」の土地柄の中で、子どもたちは社会の一員としての自覚を高めていくことができます。

また、本校の特徴である「愛鳥教育」は44年目を迎えました。様々な自然の営みと豊かにかかわりあう体験活動を通して、情緒豊かで人間性あふれる児童がすくすくと育っています。

今年度は、重点目標を「自ら学ぶ児童の育成」とし、授業改善を進めていきます。詳しくは、戸倉小ホームページをご覧ください。

<教育目標>

人権尊重の精神を基盤とし、特色ある教育を展開するなかで、確かな学力を身に付けさせるとともに、豊かな人間性、創造性を育て、心身ともに健康で、自ら学び実践する児童の育成に当たる。

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 体を大切にすること

<めざす学校像>

- 夢を育む学校
- いじめ・不登校ゼロの学校
- 児童にとって居場所のある楽しく安全な学校
- 豊かな人間性と基礎的・基本的な学力を身につける学校
- 互いに切磋琢磨し、高めあう学校
- 明るいあいさつの響く学校

小宮小学校



校長
鈴木 唯史

副校長
坂口 悟朗

<教育目標>

気づき考え実行する子

物事に対する関心、考えを深める態度、進んで取り組む態度の育み 仲良く助け合う子

思いやる心、きまりと約束を守る態度、郷土を愛し誇りに思う心の育み 明るく元気な子

健康的な習慣、丈夫な体、活動的な態度、互いに認め合う心の育み

<目指す子ども像>

- ……行動する子
- ……見つめる子
- ……やさしい子

『こ・み・や』の子

本校は、全校児童17名と東京都でいちばん児童数の少ない学校（島嶼を除く）ですが、そのことを感じさせないパワーを一人一人が発揮して教育活動に取り組んでいます。

小宮小学校では、「小宮小だからこそできる教育活動の推進」をキーワードに以下の三点の実現をめざします。

「少人数の学校だからこそ」できる授業力の向上

「大自然の中でこそ」学べる学習

「地域のなかでこそ」はぐくまれるやさしい子ども

また、全校児童による和太鼓の演奏にも引き続き取り組みます。